

＼InstagramのARフィルター？ ARアプリ？ WebAR？ ARグラス？／

ARの説明書と活用事例

ARを活用するために知りたい全体像



目次

01. 活用の前に知りたいARの全体像

- 「AR」とは？
- ARを活用するための4つの技術
- ARを取り巻く市場環境
- ARを導入する際のポイント

02. 具体的なARの活用事例・活用方法

- WebARの活用事例5選
- 実際に体験してみよう！ARのサンプル
- お問い合わせ

01. ARおよびARマーケティングの概況

「AR」とは？

VR「バーチャル現実」



AR「拡張現実」

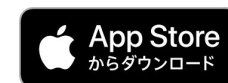


ARとは「Augmented Reality」の略で、一般的に「拡張現実」と訳されます。ゴーグルの向こう側の世界を100%バーチャルワールドに書き換える「VR」に対して、「AR」は実在する風景にバーチャルな視覚情報を重ねて表示することで、“目の前にある現実世界を拡張する”という体験を総称します。

ARを広告・マーケティングに活用するための4つの技術

①ARアプリ

高度なAR体験の開発に適していますが、開発コストが高くなりやすいです。ユーザーにはアプリをインストールをしてもらうハードルが高いため、一般的には選択されないことが多いでしょう。逆に、作り込まれた「自社専用のARアプリ」を大規模な予算をかけて開発した場合には適した技術となります。



②InstagramやSnapchatなどのSNSのARカメラ

専用のARアプリをインストールしなくても多くの人のスマホにすでにインストールされている点と、比較的安価にARコンテンツの制作が可能な点がメリットです。デメリットとしては扱えるデータ容量の上限が4MBなどInstagramを運営するMeta社の規約の中での開発が必要です。また、Instagramアプリを持つユーザーしか利用できない点は課題になります。



③WebAR

専用アプリが不要、かつプラットフォームによる規約などないため普及が加速している技術です。QRコードを読み取るだけでWebサイトを開くようにARが体験できるため、注目が高まっています。また、単にARを表示させるだけでなくGPSやCookie等を活用したさまざまなARアプリケーションを手軽に提供することも利点です。

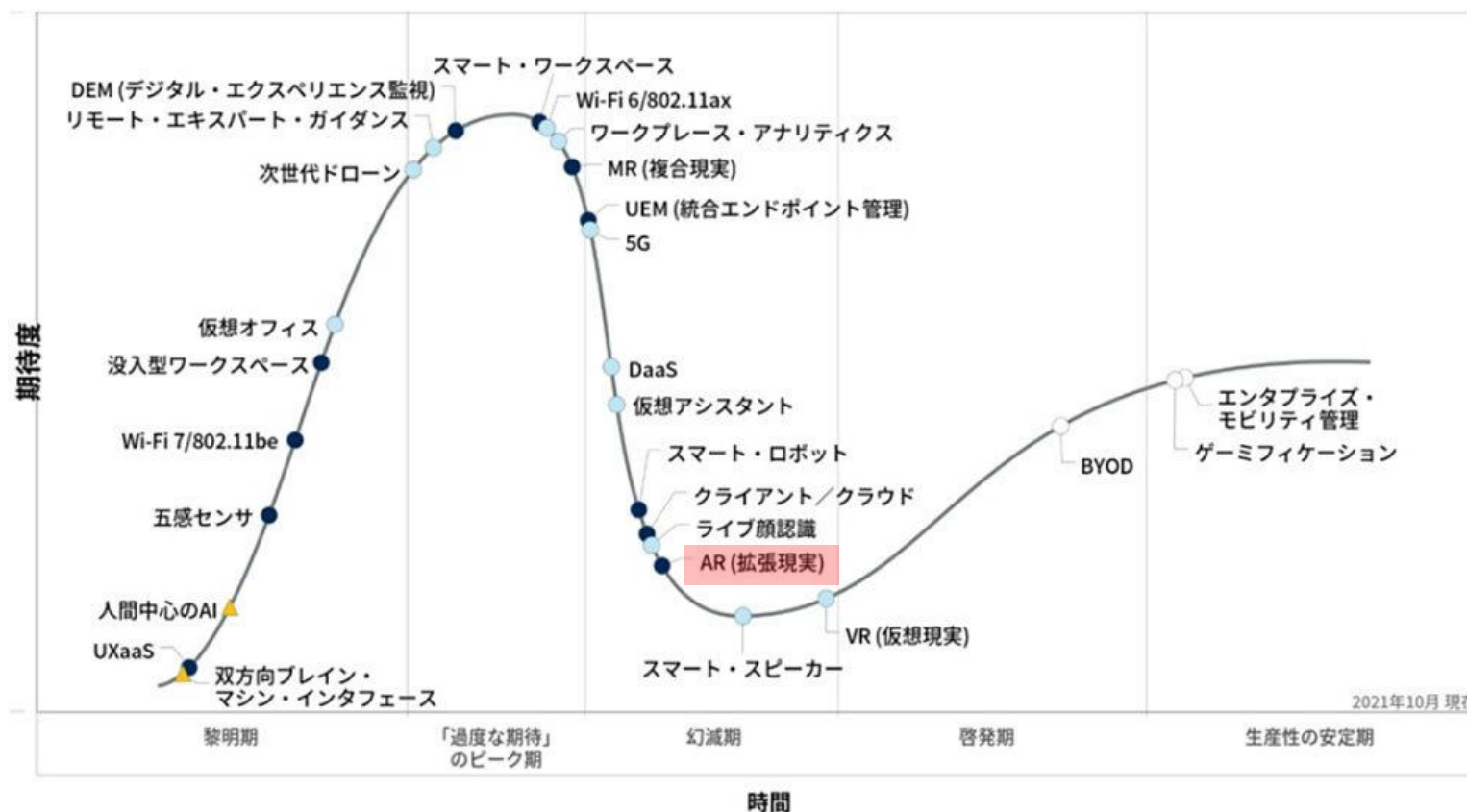


④ARグラス

スマホの次と目される「ARグラス」を活用したAR体験です。スマホの小さなディスプレイと違い空間全体にデジタル情報を表示できるため、現実とバーチャルの見境がない非常に未来的な体験をできますが、まだ技術的に発展途上にあり、一般普及にはもう少し時間が必要だと言われています。AppleのARグラスが大きな変化を生み出すと期待されています。



市場環境:2023年から「AR」は本格普及

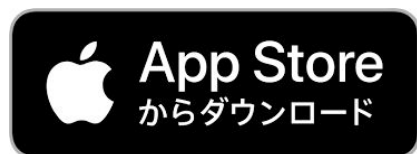


米・ガートナー社の「ハイプサイクル*」では、2021年にARを「幻滅期」と位置付けました。ARに過度な期待をしてしまい、がっかり体験をした人が多い年と定義したのです。**2023年はこの「幻滅期」の底を過ぎ、より実用的なARが普及する「啓発期」に入っていくと考えられます。**ではなぜ2021年までARは期待を下回ってしまったのでしょうか？

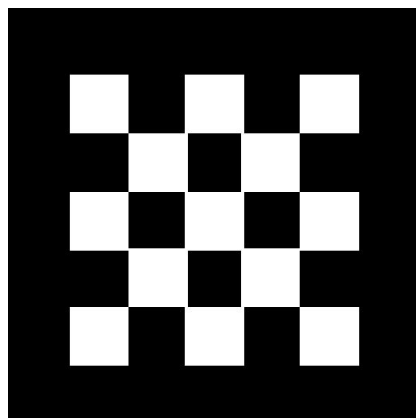
*ハイプサイクル ...米国のITリサーチ企業、ガートナー社による、先端技術の社会への適用度を示すグラフとして世界に知られる図のこと。

これまでARが成功しにくかった要因

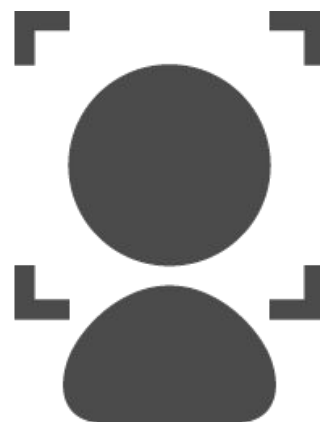
AR専用アプリ



デザイン面での制約



認識精度の低さ



高い費用



ARが期待した成果に繋がらない理由は「専用アプリのインストールが面倒で、ARを体験する前にユーザーが離脱する」ことや、「四角い黒縁のある画像マーカー」しか認識できないことで表現豊かな印刷物のグラフィックを生かせないこと、「スマホを動かすと認識がブレてしまう」など精度の問題もあり、逆にそれらを解決するリッチなAR制作には高い費用が必要になってしまう現状もありました。

オススメのAR開発方法 | WebAR制作ツールの利用

心動かすWebARコンテンツを、安く、簡単に作れる！



従来のARの課題であった「専用アプリ」が不要の「WebAR」を安く簡単に提供できるWebARコンテンツ制作ツールを活用することが有効です。全てを外注すると高価になってしまうWebARですが、ツールを活用して自社で制作することで安価に提供することが可能です。

オススメのAR開発方法 | WebAR制作ツールの利用

LocationAR株式会社OnePlanet

< プロジェクト編集 公開 保存

プロジェクト基本情報

ARタイプ 必須 ?

平面検出

画像トラッキング

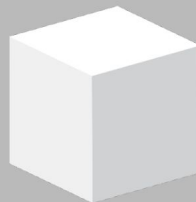
プロジェクト名 必須 ?

40文字以内

ARコンテンツ

3Dモデルファイル 必須 ?

プレビュー スマートフォンでプレビュー



AR体験URL URLをコピー

<https://qwerqfadsfasdfasaaadq...> QRコードをダウンロード

サービスサイト



こちらのプラネター(Planetar)はスマホとPCさえあれば誰でも簡単にオリジナルのWebARコンテンツを作成できるWebAR制作ツールです。操作は管理画面に写真や動画など任意のコンテンツをアップロードするだけです。さらにシステムの中で「ARスタンプラリー」を制作できる機能も備わっており、外注に頼らずARを活用したイベントも開催できます。ARを独自の武器として自社商品の魅力づけや、顧客への提案にご活用いただけます。

02. 具体的なARの活用事例5選

活用事例 観光マップAR



長野県上田市が2022年3月に展開した、観光マップを活用したAR。実際にはAR体験ができるQRコードがマップ内にプリントされ、観光マップにカメラをかざすと平面的な地図から各観光スポットの名所が立体的に浮き上がってくる仕掛けになっています。このような自由度の高い画像マーカを使ってリッチなARを手軽に作ることができます。

活用事例 新聞広告AR



参考動画



長野県上田市が2022年3月に展開した、読売新聞に掲載したレトロな鉄道の静止画を動画化するシティプロモーションのAR。実際のQRコードを読み取って画像に向けてカメラをかざすと、静止画だと思っていた画像が音声と共に生き生きと動き出します。自由度の高い画像マーカ、動画コンテンツを使えるからこそ生まれるワクワクするようなAR体験が良い反響を生み出しました。

活用事例 ARスタンプラリー



参考動画



相模鉄道が2022年3月に実施したARスタンプラリー。相鉄線沿線にある大型商業施設3ヶ所にパネルを設置し、パネルのQRコードからAR体験が可能。同社のキャラクター「そうにゃん」がARで出現し、3ヶ所の異なるARを体験するとスタンプが貯まる仕組みです。AR体験からスタンプラリーを含めてシステム利用料だけで制作できるため、費用を抑えて話題のイベントを実施することに成功しています。

活用事例 AR選手パネル



参考動画



広島県のプロバスケットチーム「広島ドラゴンフライズ」が展開した選手パネルが動き出すAR。アリーナに設置された等身大パネルに向けてカメラをかざすと、選手たちが動き出す仕掛けになっています。こちらのARは選手パネルの写真と動画を用意するだけでAR制作が完結しており、手軽にリッチなWebARが制作できた事例として好評を博しました。

活用事例 駅構内タペストリー



長野県上田市の駅前に設置された「上田城千本桜まつり」のプロモーション用AR。3m×3mという巨大なタペストリーとして印刷したこちらの画像には、上からAR用のQRコードを貼付して駅前に設置。QRコードを経由してARカメラをかざすと、タペストリーの周辺に美しい桜の花びらが舞い散るARとしてお祭りのプロモーションを実現しました。

Create New Experiences with Augmented Reality Technology

ARテクノロジーで 次の時代の感動体験を創造する

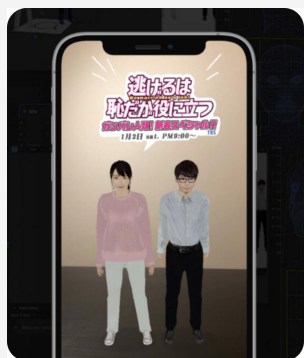
OnePlanetとは

AR技術をベースに、様々な事業を展開するスタートアップ企業

OnePlanetは ARに特化した技術者と3DCGのプロフェッショナルで構成された“AR技術”に特化した専門チームです。スマホベースのARやMRグラス、メタバースなど先端技術を活かした様々なユーザー体験の創造に国内でいち早く取り組んできた結果、企業の効果的なAR導入を多数実現してきました。ARを活用した新規事業開発や、企業のDXを実現する技術力が私たち独自の強みです。

運営会社について

実績 Works



TBSテレビ

株式会社TBSテレビ様の人気ドラマプロモーションのAR開発パートナーに採択されました。モーション付き3Dモデルの細部までこだわりながら、Instagram ARの制限内の容量に収めるという高度な3D×ARプロジェクトを手がけました。



ドミノ・ピザ ジャパン

ドミノ・ピザ ジャパン様の新商品プロモーションのAR開発パートナーに採択されました。同社の新商品で使われている世界中のチーズについて、世界各国を旅しながら楽しむようなAR体験をWEBブラウザにて開発させていただきました。

会社概要 Company Info

会社名	株式会社OnePlanet
代表者	村上 智彦
設立日	2018年6月15日
本店所在地	千葉県長生郡一宮町一宮2998-2 SUZUMINE



最先端のARグラス各種を活用したアプリケーション開発も提供。「次の時代の新しいユーザー体験」を創造するために、OnePlanetは心強いパートナーになります。